

IV 資料

1 目標事業量

◆認可保育園◆			
保育者が日中就労等のために保育できない児童を認可保育園で保育する (保育時間 11時間)			
【平成20年度現状】	1,771人	➡	【平成26年度目標事業量】 1,805人

◆幼稚園の預かり保育◆			
私立幼稚園6園で早朝及び通常保育終了後に、希望により預かり保育を行い、子育て支援に努める			
【平成20年度現状】	80人	➡	【平成26年度目標事業量】 220人

◆延長保育事業◆			
認可保育園において通常保育の前後に時間を延長して保育を行う (延長時間 30分～7時間)			
【平成20年度現状】	312人 11か所	➡	【平成26年度目標事業量】 630人 11か所

◆休日保育事業◆			
日曜日・祝日に、保護者が就労等のために日中保育できない児童を認可保育園で保育する			
【平成20年度現状】	336人 (県事業で実施) 1か所	➡	【平成26年度目標事業量】 513人 2か所

◆病児・病後児保育事業◆			
病気回復期にある児童を保育園・病院等において保育する			
【平成20年度現状】	2か所 (うち病後児対応型 1か所)	➡	【平成26年度目標事業量】 1,500日 2か所 (うち病後児対応型 1か所)

◆一時預かり事業(保育園型)◆			
普段家庭において児童を保育している保護者の病気時の対応や育児疲れ解消等を目的に、一時的に認可保育園で児童を保育する			
【平成20年度現状】	5か所	➡	【平成26年度目標事業量】 2,000日 5か所

◆ショートステイ事業◆

保護者が病気になった場合等に、児童福祉施設等において短期間（1週間程度）児童を預かる

【平成20年度現状】 2か所 → 【平成26年度目標事業量】 2か所

◆放課後児童健全育成事業◆

保護者が日中就労等のために家庭にいない小学生（主に低学年）に対し、授業の終了後に放課後児童クラブや児童館・小学校の余裕教室等において、適切な遊びと生活の場を与える

【平成20年度現状】 834人 15か所 → 【平成26年度目標事業量】 1,050人 21か所

◆児童館◆

児童館は“あそび”をとおして、子ども達を健康で心ゆたかに育てていくための施設で、だれでも自由に利用することができ、仲間とともに、豊かな生活体験の場を提供する

【平成20年度現状】 2か所 → 【平成26年度目標事業量】 2か所

◆地域子育て支援拠点事業（センター型）◆

専任の保育政党により、基本事業を園庭や専用スペースにおいて実施するとともに、既存のネットワークや子育て支援活動を行う

【平成20年度現状】 9か所 → 【平成26年度目標事業量】 9か所

◆地域子育て支援拠点事業（ひろば型）◆

常設の集いの場を開設し、基本事業を実施するとともに、地域との交流活動を実施する

【平成20年度現状】 2か所 → 【平成26年度目標事業量】 2か所

◆ファミリーサポートセンター事業◆

子育ての支援を受けたい人と行いたい人が会員登録し、保育園までの送迎、保育園終了後や買い物等の外出時の一時預かり等、子育てについての助け合いを行う

【平成20年度現状】 1か所 → 【平成26年度目標事業量】 1か所

2 事業の内容

(1) 健康教育・健康診査

(平成 21 年度現在)

事業名	内容
パパママセミナー	夫婦の役割・育児等についての講話と実習、妊婦体験、ビデオ学習、グループワーク、沐浴、調乳、抱き方の練習
マタニティセミナー	妊娠中の栄養及び生活について、①歯科検診と歯みがき実習、育児について②分娩の経過と妊娠体操、③妊娠中の栄養についての講義と調理実習
①前期離乳食講習会	①生後 5 か月児の親を対象に離乳食についての講話と実習、赤ちゃん体操
②後期離乳食講習会	②生後 9 か月児（前期と同じ）ブックスタートの実行状況の確認
3 か月児健康教室	生後 3 か月児の親を対象に育児・予防接種・離乳食について、身体計測、発育・発達相談・ブックスタートの実施
幼児事後教室（遊ぼう会）	健診等の事後教室として集団の遊びや親同士の交流、子育て相談
出前健康講座	要望に応じた育児グループ等の子育て相談及び教育・実習等
妊婦健康診査	定期健診 13 回・血液検査など 2 回
（合計 19 回実施）	超音波検査 4 回
乳児健康診査	身体計測・内科診療・育児相談
（4 か月・10 か月児に実施）	身体計測・医師による診察
1 歳 6 か月児健康診査	身体計測・内科検診・歯科診療・育児相談
	栄養相談・ブラッシング指導
3 歳児健康診査	身体計測・内科検診・歯科診療・育児相談
	栄養相談・ブラッシング指導

(2) 救急医療体制

■平日夜間救急医療体制

診療科目	診療時間	診療場所
内科・小児科・外科	午後 6 時～夜 10 時	医師会メディカルセンター
内科・小児科・外科	夜 8 時 30 分～翌朝 7 時	沼津夜間救急医療センター（外科（木）23 時 30 分まで）
外科	夜 10 時～朝 9 時	三島社会保険病院と三島中央病院の 2 院による当番制（消防署にお問い合わせください）

■土曜日の救急医療体制

診療科目	診療時間	診療場所
------	------	------

内科・小児科・外科	午後2時～夜9時	医師会メディカルセンター
内科・小児科・外科	午後6時～翌朝7時	沼津夜間救急医療センター
外科	夜9時～朝9時	三島社会保険病院と三島中央病院の2院による当番制（消防署にお問い合わせください）

■休日祝日の救急医療体制

診療科目	診療時間	診療場所
内科・小児科・外科	朝9時～夜9時	医師会メディカルセンター
内科・小児科・外科	午後6時～翌朝7時	沼津夜間救急医療センター
外科	夜9時～朝9時	三島社会保険病院と三島中央病院の2院による当番制（消防署にお問い合わせください）
耳鼻科・眼科・産婦人科	朝8時～午後5時	三島市・沼津市・裾野市・富士市（耳鼻科のみ）・長泉町・清水町の担当医師が当番制で在宅診療します。 （消防署にお問い合わせください）
歯科	午前9時～午後4時	市内の担当医師が当番制で診療します。

■二次救急医療体制 (※11)

(※11) 緊急に手術や入院を要する市民の救急医療を確保するため、二次救急診療を行っています。

診療科目	診療場所
内科・外科	三島社会保険病院と三島中央病院の2院による当番制
脳神経外科・循環器科	三島市・沼津市・裾野市・長泉町・清水町の担当医療機関が当番制により診療を行っています。

■ICU・CCU救急事業委託

事業名	内容
ICU・CCU救急事業委託	重篤な患者を常時監視し診療できる集中治療室により、3次救急を補完する2.5次救急の高度救急医療体制を確保していきます。

(3) 医療費助成による医療費負担の軽減

事業名・対象	内容
子ども医療費助成	
入院費医療費助成	0歳から小学校6年生までの保険診療にかかる自己負担の助成(1日500円の自己負担有)
通院費医療費助成	0歳から小学校3年生までの通院医療費のうち保険診療にかかる自己負担の助成(1回500円の自己負担有、但し1か月4回限度5回目以降負担無)
重度心身障害児・者医療費助成	
身体障害者手帳1・2級所持者	保険診療一部負担額より、高額療養費、付加給付額および自己負担額(1月1医療機関ごと500円)を控除した額を、診療月の翌々月以降に支給
療育手帳A所持者、(B所持者入所者のみ)	
特別児童扶養手当1級	
身体障害者手帳3級所持者の内、[心臓・腎臓・呼吸器・小腸・ぼうこう又は直腸の各機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害]のいずれかに該当する者	上記の内容に準じる。但し、診療内容は身体障害者手帳3級に該当する障害に係るものに限定する
母子世帯等医療費助成	
20歳に達する日の前日までの間にある児童を養育している母子・父子世帯及び準母子(父母のいない児童)世帯	保険診療自己負担額より保険給付額、付加給付額等を控除した額
不妊治療費助成	
県の補助対象以外の不妊治療をした方	不妊治療のために支払った金額の1/2以内で1回上限100,000円
(1人通算2回まで)	
妊婦健康診査の指定外機関での受診に対	里帰り先等、指定外医療機関で受診した方

する助成

妊婦健康診査 初回：上限 15,000 円、

2～14 回：上限 4,000 円

超音波検査 各回上限 5,300 円

血液検査 上限 3,000 円

(4) 学校開放事業

■小中学校体育施設開放事業の充実

平成 14 年度より 1 部改正

事業名	内容
小中学校体育施設開放事業の充実	開放する日：休業日 ^(※12) 開放する時間： 5 月～10 月 : 午前 9 時から正午、午後 1 時から午後 5 時 11 月～翌 4 月 : 午前 9 時から正午、午後 1 時から午後 4 時

(※12)「休業日」とは、三島市公立学校管理規則(平成 12 年三島市教育委員会規則第 3 号) 第 3 条第 1 項の休業日をいう。

(5) 安全な生活環境

■交通安全・防災団体等

団体名	活動内容
交通安全母の会	研修会の開催・参加
幼児交通安全クラブ	園児に対する交通安全教室を開催
幼年消防クラブ	園児に対する防火・防災学習と出初め式への参加

■防災対策事業

事業名	活動内容
防災拠点備品整備事業	災害時要援護者用粉ミルク（130グラム 480箱） 哺乳ビン（240ml 500個）紙オムツ（子ども用 5,400枚）の備蓄

■食品安全団体

団体名	活動内容
消費者連絡協議会	純正食品普及

■防犯団体

団体名	活動内容
三島市PTA連絡協議会	こどもかけこみ 110番の家設置

(6) 相談支援体制

■たんぼぼ教室（平成 21 年度事業計画から）

事業名・教室名	内容
たんぼぼ教室（錦田こども園内、たんぼぼ教室棟）	
あそびの教室	集団遊び
リズム教室	リズム運動・リトミック
のぞみ教室	感覚統合遊び

(7) 就園・就学経費の負担軽減、各種手当

■各種手当等の種類

(平成21年度現在)

手当の種類	内 容
児童手当	<p>児童手当は児童の健全育成を目的として実施し支給されるものです。</p> <p>①12歳到達後、最初の3月31日までの間にある児童を養育していること。</p> <p>②前年所得が一定額に満たないこと。</p> <p>なお、所得制限により児童手当を受けられないサラリーマン等(厚生年金に加入している人)又は公務員については、所得が一定額未満の場合特例による給付が受けられます。</p> <p>手当額 3歳未満の児童 一律10,000円(月額)</p> <p>第1子 5,000円(月額)</p> <p>第2子 5,000円(月額)</p> <p>第3子以降 10,000円(月額)</p>
児童扶養手当	18歳に達した最初の3月31日までの子供がいる母子家庭等に支給される手当です。(障害年金2級程度以上の障害を有する場合は20歳未満)
特別児童扶養手当	日常生活において、常時特別の介護を要する20歳未満の児童を養育している者
母子世帯等児童育成手当	児童扶養手当を受けている世帯で扶養手当対象人数が3人以上の世帯
障害児福祉手当	日常生活において、常時特別の介護を要する20歳未満の在宅重度障害児
交通遺児等扶養手当	主たる生計維持者が死亡又は障害となった18歳に達する日以後最初の3月31日までの間にある児童を養育している者
母子世帯等小学校入学祝金	母子、父子世帯の児童を対象
母子世帯等中学校就学・高校進学支度金	母子、父子世帯の児童を対象
母子世帯等医療費助成	20歳未満の児童を養育している母子・父子世帯及び準母子(父母のない児童)世帯
自立支援教育訓練給付金	20歳未満の児童を養育している母子世帯の母が、雇用の安定と就職の促進を図る教育訓練を終了したとき。入学料及び授業料の20%(最高10万円)
子ども医療費助成	<ul style="list-style-type: none"> 入院医療費助成 0歳から小学6年生までの児童の保険診療にかかる自己負担を助成(1日500円の自己負担有) 通院医療費助成 0歳から小学3年生までの児童の保険診療にかかる自己負担を助成(1回500円の自己負担有、但し1か月4回限度で5回目以降は自己負担なし)
難病患者見舞金	1年以上三島市に居住している小児慢性特定疾患等及び特定疾患の難病患者を対象(15,000円、11月申請)
在宅重度重複障害者介護者手当	身体障害者手帳(1・2級)、継続して知的障害者療育手帳(A)を同時に持っている重度重複障害児・者を6か月以上介護している同居の介護者
三島市育英奨学金	学費の支弁が困難と認められ、保護者が市内に1年以上住所を有する者 (月額) 高校生等12,000円 大学生等 30,000円 (入学一時金) 高校生等60,000円 大学生等300,000円
就学援助制度	要保護・準要保護の児童・生徒の保護者(学用品や給食費等の援助)
重度心身障害児福祉手当	特別児童扶養手当受給権者で1年以上三島市に居住している方に限り、月4,000円(7、11、3月の年3回払い 6月申請)
重度心身障害者援護金	1年以上三島市に居住していて、身体障害者手帳1～4級、及び療育手帳A、B1判定、又は精神障害者保健福祉手帳1～2級所持者へ支給。 身体1～2級、療育A、精神1級は15,000円、身体3～4級、療育B1、精神2級は10,000円 5月申請

(8) 青少年健全育成事業

事業名	内容・目的
三島市少年の船	対象：三島市に在住する中学生 航海体験や洋上体験、研修・交流を通じて仲間づくりを理解させ規律と忍耐力の養成をめざして実施
三島市少年少女発明クラブ	対象：三島市内に在住する小学4年生～6年生 科学的で独創的な発想に基づく創作活動を通して、想像性豊かな人間形成を図ることを目的とする
中学生の主張大会	対象：市内8中学校の中学生 日常生活の中で考え、感じていることを発表する機会を提供することにより、自らを見つめ直し社会の一員としての自覚を高める契機とする
みしまっ子体験塾	対象：三島市内に在住する小学4年生～6年生 三島の歴史、環境、食などの資源を生かした体験活動を通して、郷土に親しみ健やかな心身を育むと共に、学校や学年を超えた仲間づくりを目的に実施
ジュニアリーダー研修	対象：市内中学生 研修を通して仲間意識を高め、自主性、実践性、協調性等を培い、リーダーとしての資質を身につけるため実施
高校生リーダー(アドバンス・ジュニアリーダー)研修	対象：ジュニアリーダー研修に参加経験のある高校生 ジュニアリーダー研修を修了した高校生が、自ら企画する様々な活動を通して、地域社会活動に意欲的に取り組む高校生リーダーの養成を目指して実施
青少年指導者養成研修	対象：市内在住または在学の高校生、市内在住または在勤の成人 青少年活動の指導者として、必要な知識や技術を身につけるための研修及びみしまっ子体験塾等の実践活動を通じて、将来地域の青少年活動において活躍できる人材を養成する
小学生環境探偵団	対象：小学4～6年生 会場：源兵衛川ほか 環境リーダーを育成するため、源兵衛川での環境ボランティア活動やリサイクル工場の見学などを行う
中学生環境リーダー研修	対象：中学生 会場：霞ヶ浦ほか 環境リーダーを育成するため、環境体験学習や自然保護ボランティア活動を行う
親子水生生物観察会	対象：小学生の親子 会場：源兵衛川 源兵衛川で水生生物を採取し、その種類によって川の汚れを調べる

野草をさがそう	対象：一般(小学生含む)	会場：箱根の里
	植物の自然観察学習を通し山野草の知識を深め、採取し天ぷらにして試食する。	
キャンプ場一般開放	対象：一般(小学生含む)	会場：箱根の里
	夏休み期間に野外炊飯などを通し仲間作りや親子のふれあいを図る。	
チャレンジスクール	対象：小学生	会場：南伊豆臨海学園及び箱根の里
～夏～	シーカヤック、キャンプファイヤー等	
ふれあい家族	対象：一般(小学生含む)	会場：箱根の里
	クラフトや箱根周辺をハイキングし植物観察を実施する。	
門松作り教室	対象：一般(小学生含む)	会場：箱根の里
	正月用の門松作りを行う。	
星を観る会	対象：一般(小学生含む)	会場：箱根の里
	天体望遠鏡を使い星座などの観察を行う。	
竹炭作り教室	対象：一般(小学生含む)	会場：箱根の里
	竹炭作りを体験し、竹炭の効能、使い方を学ぶ。	
チャレンジキャンプ	対象：小学4～6年生	会場：箱根の里キャンプ場
～冬～	共同生活を行い自然の厳しさ、素晴らしさを身をもって体験する。	
プラネタリウム一般公開	対象：一般(小学生含む)	会場：箱根の里
	四季の星座と星物語を解説する。	
スポーツテスト	対象：スポーツ少年団	会場：市民体育館
スポーツデー	対象：幼児以上	会場：市民体育館
	卓球・バドミントン・トランポリン他、健康体力チェック	
野外活動教室	対象：小学生以上親子(定員50名)	会場：箱根の里キャンプ場
校区市民運動会	対象：市民	会場：市内14会場

事業名	内容・目的	
スポーツ教室	対象：小学生以上	会場：市民体育館・温水プール他
	剣道・水泳・バレーボール・テニス他	
文化財保護・啓発教育普及事業	対象：児童・生徒	
	郷土の歴史や地理・埋蔵文化財・伝統文化の体験	

■青少年健全育成団体

団体名	活動内容	
スポーツ少年団	団体数：40 団体	団員数：930 人
	種目：野球、ソフト、剣道、サッカー、バレーボール、バスケットボール、陸上、一輪車	
	内容：青少年にスポーツを振興し心身の健全な育成を図る	

青少年団体

三島市子ども会連合会	団体数：68 団体	団員数：4,825 人
	奉仕活動・地域交流事業等・リーダー養成等	
ボーイスカウト三島地区協議会（田方地区を含む）	団体数：8 団体	団員数：495 人
	奉仕・野外活動、技能・知識習得、将来社会に役立つリーダー養成	
ガールスカウト三島地区連絡協議会	団体数：2 団体	団員数：80 人
	奉仕・野外活動、技能・知識習得、将来社会に役立つリーダー養成	

主な青少年健全育成活動団体

三島市青少年健全育成会	対象：全市	青少年が「誇り」と「責任」と「自覚」をもって、社会に役立つたくましい人間として成長するため、行政とともに地域・学校・家庭との連携を図り、社会を明るくする運動への参加など、関係機関と協力して青少年健全育成事業を推進している。
各地区自治会連合会	対象：地区の子どもから大人まで	講演会、映画会、あいさつ運動、スポーツ大会、環境美化運動、ふれあい祭り、座談会、社会を明るくする運動への参加等
三島市PTA連絡協議会	対象：市内小・中学校生	あいさつ運動、こどもかけこみ 110 番の家設置推進

各校区PTA	対象：学校区小・中学生
	あいさつ運動、交通安全指導、奉仕作業、リサイクル運動、補導指導、本の読み聞かせ等
豊かな心を育てる会	対象：学区の子どもから大人まで
	あいさつ運動、交通安全指導、学区内美化運動、学区補導、教育懇談会、こころの講演会等
三島夏まつりの子ども しゃぎり大会運営委員 会	対象：小学生 三島市・沼津市・裾野市・函南町・長泉町の3市2町の子ども達が、三島夏まつりのしゃぎり大会に参加している。
	・夏まつりの盛り上げ 参加団体：50団体 参加者：1,500人
地区子どもしゃぎり	対象：小学生 各地区で毎年4月頃から10月頃まで、しゃぎりの練習と三島夏まつりをはじめ地区の祭で、しゃぎりを演奏している。
	・しゃぎりの伝承保存 ・あいさつの励行
三島商工会議所	対象：小学生
	たのしいそろばん大会
三島青年会議所	・わんぱく相撲三島場所 対象：小学生 学年別トーナメント方式
	・心の教育に関する事業 対象：小学生 自然体験をしながら心の教育を行っている。
三島泉ライオンズクラブ	対象：三島市少年野球育成会 青少年選抜野球大会への助成

団 体 名	活動内容
主な青少年健全育成活動団体	
三島ライオンズクラブ	対象：市内小学校サッカークラブ ライオンズクラブ杯サッカー大会
三島ロータリークラブ	対象：三島北中学校2年生 青少年健全育成セミナーを年1回開催している。 ・「職場の体験実習」と「事後研修(ディスカッション)」
三島西ロータリークラブ	対象：台湾中学生と市内中学生 姉妹クラブ交換中学生の受け入れ派遣 ・市内中学校での体験学習 ・日本文化や食生活を学ぶ ・中学生の相互交流
三島市地域活動連絡協議会	対象：幼児から高齢者まで りぼんクラブによる人形劇の公演、児童センターサポートクラブによる児童対象の講座、親子クラブによる交流事業
公立保育園父母の会	対象：公立保育園の園児とその保護者 バルーンアートによる花や犬づくりとゲームで相互交流

(9) 少年教育の推進

事 業 名	内容・目的
キディプラザ	リトミック、クラフト等
例月事業	陶芸、お菓子作り、クラフト、クリスマス会等
みしまっ子体験塾	伝統文化、食育、自然体験、工芸、科学、スポーツ
ジュニアリーダー研修	規律訓練、自然体験、科学、もの作り体験
中郷公民館	生け花、剣道、子どもマナー
北上公民館	書道、伝統文化
錦田公民館	あすなる音楽
図書館	おはなし会 子どもと本の教室 (本の紹介・工作等)
図書館中郷分館	おはなし会 子どもと本の教室 (本の紹介・工作等)
縄文土器作り	土練り、成形、焼成
郷土教室	竹細工づくり、古代の生活体験
夏の郷土学習	水辺の歴史訪問

3 三島市児童育成計画策定経過（12月22日の検討会まで記入済み）

年 月 日	内 容	備 考
平成21年 3月 16日	第1回庁内ワーキンググループ会	
平成21年 1月 9日 ～ 3月 31日	次世代育成支援に関するアンケート調査 対象標本：3,000人 有効回収：2,433人（81.1%）	就学前児童の保護者 2,000人 小学校児童の保護者 1,000人
平成21年 5月 19日	第2回庁内ワーキンググループ会	
5月 26日	第1回庁内策定検討会	
6月 16日	第1回次世代育成計画策定懇話会	
10月 20日	第2回庁内策定検討会	
10月 23日	第2回次世代育成計画策定懇話会	
11月 9日	第3回庁内ワーキンググループ会	
11月 24日	第4回庁内ワーキンググループ会	
12月 22日	第3回庁内策定検討会	
平成22年 1月 日	第3回次世代育成計画策定懇話会	
3月	三島市次世代育成計画書発行	

4 三島市次世代育成計画策定懇話会設置要綱

（設置）

第1条 次代の社会を担う児童が健やかに生まれ、かつ、育成される環境整備を推進するには、各階各層の見識者から広く意見を取り入れ検討する必要があるため、三島市次世代育成計画策定懇話会（以下「懇話会」という。）を置く。

（所掌事項）

第2条 懇話会は、策定計画の必要性、妥当性、優先の度合い等について、意見を交換し、提言を行う。

（委員）

第3条 懇話会の委員は、20人以内とする。
2 委員は、関係機関の代表者及び学識経験を有する者のうちから市長が依頼する。

（座長等）

第4条 懇話会に座長を置く。
2 懇話会に副座長を置き、座長がこれを指名する。

（懇話会）

第5条 懇話会は、必要に応じて市長が召集する。

（庶務）

第6条 懇話会の庶務は、次世代育成計画策定担当課において処理する。

（補足）

第7条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営について必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成16年6月1日から施行する。

5 三島市次世代育成計画策定懇話会委員名簿

(順不同、敬称略)

選出団体	氏名	備考
学識経験者（日本大学）	教授 佐々木 久信	座長
学識経験者（静岡県立大学短期大学部）	准教授 三田 英二	副座長
三島市子ども会連合会	会長 石井 芽久美	
三島市民生委員・児童委員協議会	児童福祉部 岡田 美喜子	
三島公共職業安定所	所長 飯塚 利明	
三島市PTA連絡協議会	会長 石田 善美	
事業主代表 横浜ゴム（株）	業務課長 沓 澤 譲	
労組代表	静教組三島支部 小 櫻 賀 子	
私立幼稚園協会	会長 山 本 環	
民間保育園園長会	代表 杉 村 伸 一	
私立幼稚園協会父母会	会長 櫻 井 操	
民間保育園保護者会	代表 増 田 直 子	
公立保育園父母の会連合会	会長 胡 桃 沢 昌 広	
公立幼稚園PTA連合会	会長 近 藤 泰 子	
公募市民	小 林 恵 子	
合 計	15人	

【事務局】

三島市福祉事務所	子育て支援課	児童育成係
----------	--------	-------

6 三島市次世代育成計画策定庁内検討会

所 属 名	補職名	氏 名	備 考
民 生 部 (福祉事務所)	部 長	土屋 正雄	座 長
	健康増進課	課 長	長野 哲也
	子育て支援課	課 長	諏訪 公隆
環境市民部	環境政策課	課 長	土屋 雅夫
地域振興部	商工観光課	参 事	宮崎 真行
	地域安全課	課 長	芦川一登志
企 画 部	政策企画課	課 長	江ノ浦一重
建 設 部	水と緑の課	課 長	菊地たか子
	建築住宅課	課 長	植野 良裕
教 育 部	学校教育課	課 長	島田 剛
	生涯学習課	参 事	小松 繁生
合 計			11人

7 三島市次世代育成計画策定 庁内ワーキンググループ名簿

部	課	氏名
環境市民部	環境政策課	三枝邦昭
地域振興部	商工観光課	三田操
	地域安全課	鈴木敏夫
財政部	財政課	佐野康仁
企画部	政策企画課	鈴木昌幸
	人事課	荻野勉
建設部	都市計画課	山田美智子
	水と緑の課	工藤純
	建築住宅課	大庭秀樹
教育部	教育総務課	浅見徹哉
	学校教育課	三澤美津子
	市立幼稚園	榎本秀子
	生涯学習課	原憲治
民生部	福祉総務課	米山美津子
	障害福祉課	古屋秀樹
	健康増進課	妻木恵美子
	子育て支援課	佐野隆三
		柿島美奈子
	子育て支援センター	鈴木幸子
市立保育園	鷺山秀子	
合計		20人

